

令和5(2023)年度

人間環境大学大学院
松山看護学研究科
(博士後期課程)

学生募集要項

人間環境大学大学院
松山看護学研究科

博士後期課程

目 次

博士後期課程 目次.....	1
<教育理念・教育目的・教育の目標・入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)>	2
<カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー>	3
1. 専門分野・領域・募集人員・取得できる学位.....	4
2. 各専門領域の担当教員	5
3. 修業年限	6
4. 入試日程	6
5. 出願資格	7
6. 研究領域についての事前相談	7
7. 入学資格認定審査について.....	8
8. 出願手続・出願書類等.....	9
9. 出願に関する注意事項.....	10
10. 入学検定料.....	10
11. 受験票について	11
12. 試験日・試験場・選考方法	11
13. 試験当日の注意	12
14. 入試結果通知について	12
15. 入学手続について	12
16. 個人情報の取り扱いについて.....	13
17. 長期履修制度について	13
18. 奨学金	14
19. 身体障がい者に対する受験上の配慮.....	14

人間環境大学大学院松山看護学研究科看護学専攻

＜教育理念＞

松山看護学研究科は、看護学の理論・倫理と実践を往還的に教授研究し、看護学の発展に寄与するとともに人々の健康問題の予防・改善・解決に向けて科学的・論理的に取り組むことができる人材を養成し、福祉、健康文化の向上に寄与することを教育理念とする。

博士後期課程

＜教育目的＞

複雑多様に変化する社会の中で、健康関連の課題・問題に対して臨床指向型・患者中心型で対象のQOLを看護的視点で追究し、深い学識と倫理観、幅広い視野を基盤に自立して研究できる能力を備え、看護実践と研究、理論形成を循環させることができ、看護学を実践科学として発展させる自立した研究者、及び教育者としての能力を有し、看護実践の向上や地域の保健・医療に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜教育目標＞

- ①深い学識と倫理観や幅広い視野を基盤に、自立した研究活動ができる能力を養う。
- ②専門領域の卓越した研究者・教育者として、次世代を担う看護を先導できる能力を養う。
- ③看護学を実践科学として発展させるとともに、地域の保健・医療・福祉活動に貢献できる能力を養う。

＜アドミッション・ポリシー＞

人間環境大学大学院松山看護学研究科の教育理念、教育目的、教育目標を達成し、教育者・研究者・実践者を育成するため、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

[博士後期課程]

- 1) 看護の実践現場や看護教育の現場における課題解明と改革のために研究活動を推進できる人。
- 2) 自身の専門領域に精通した知識・技術・倫理観を有している人。
- 3) 看護学の発展を目指し、広い視野で学際的・国際的な課題を探究し続ける意欲がある人。
- 4) 社会の情勢を十分に理解し、看護の役割に対する使命感を持ち、社会貢献できる人。

<カリキュラムポリシー>

博士前期課程における教育を基礎として、自立して研究できる人材で、教育・研究を通じて看護実践及び看護学の発展に貢献できる人材を育成する。

専門領域は、「看護実践開発領域」「地域包括ケア領域」からなる2領域とし、教育課程は「共通科目(必須、選択)」と2領域の「専門科目」により編成する。

- (1) 共通科目は、保健医療福祉分野で生起する看護現象に対して、看護学の学問的発展に貢献できるよう自立して研究できるための研究方法や、研究能力育成に必要な理論構築に資する科目、AI・ゲノム診断・治療、分子標的治療、新しい免疫療法、臓器再生医療等、新しい医療の基礎となる概念を培うために修得する科目、人生100年時代と言われる社会を考慮し世代継承性(Generativity)の概念を理解するとともに、看護ケアの方向性について探究する科目を配置する。また、現代の社会的課題であるケアの社会化を目指す意義、地域でケアすることの課題、及び地域看護型ケアシステムの実装に向けた看護の展開を学修し、住まい・医療・看護・生活支援・介護予防の視点で、社会保障・社会福祉、他職種連携、継続看護、ICTの活用を含めた実践的検証を目指す科目を配置する。
- (2) 専門領域の各看護学領域の専門科目には、今後の知識基盤社会に必要な新たな知見や価値を創出でき、あらゆる年代や各ライフステージ、医療施設・地域・在宅で起こりうる健康問題・課題を看護の学術的視点で開発でき、国内外の学術誌を分析・検討することにより、実践・教育・研究を通じて看護学の発展に貢献できる能力を修得するための科目を配置する。
- (3) 研究指導を受け博士論文を作成するとともに、継続して取り組むことができる研究課題を見出すことのできる科目を配置する。

学習方法は、講義・演習・実験・フィールドワーク・研究活動のいずれかを取り入れる。

学習成果の評価は、授業科目では到達目標と履修判定指標、成績評価基準をコマシラバスに明示し総合的に評価し、研究では主査1名と副査2名の審査委員による博士学位論文審査・最終試験により評価する。

<ディプロマポリシー>

定める期間在学して研究指導を受け、所定の単位を修め、博士論文の審査に合格し、最終試験において以下の能力が認められた者に博士（看護学）の学位を授与する。

- ①幅広い視野と深い学識を備え、看護学分野の学問的発展に寄与できる自立した研究活動を実践する能力を身につけることができる。
- ②看護学の学問的発展のために、看護の知識基盤の確立を目指し、学問体系や看護実践の論理性・科学性を探究する能力を身につけることができる。
- ③人間・健康・環境に対する豊かな見識をもち、地域社会における健康課題の探究や社会システムの変革・構築に対応でき、地域社会の発展のために社会貢献する能力を身につけることができる。

松山看護学研究科看護学専攻 博士後期課程

1. 専門分野・領域・募集人員・取得できる学位

専 攻	専門領域	募集人員	取得できる 学 位
看護学 専攻	<ul style="list-style-type: none">・ 看護実践開発領域・ 地域包括ケア領域	3名	博 士 (看護学)

※令和5年度の募集領域については必ず事前に確認してください。（入試・広報部 TEL 0564-48-7811）

2. 各専門領域の担当教員

人間環境大学大学院 松山看護学研究科 看護学専攻

研究領域	職名	氏名 <メールアドレス>	主な研究テーマ
看護実践開発領域	教授	河野 保子 ※ <y-kawano@uhe.ac.jp>	専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の人権、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意思決定である。
	教授	本田 和男 <k-honda@uhe.ac.jp>	専門は外科学専攻（消化器、乳腺）、癌の遺伝子解析、癌の化学療法・遺伝子治療である。
	教授	森田 克也 ※ <k-morita@uhe.ac.jp>	専門は薬理学、疼痛学、難治性疼痛の分子基盤及び新規治療法の開発。脳の可塑性・神経伝達機構に関する研究。唾液中神経栄養因子を指標にした認知症予防を研究テーマとしている。
	教授	三並 めぐる ※ <m-minami@uhe.ac.jp>	専門は小児看護学と学校保健学。研究内容は子どもが生涯無煙環境で育つための家族支援、タバコフリーの実現と喫煙防止教育、養護教諭の危機管理力を高める実践研究である。
	教授	高田 律美 ※ <n-takata@uhe.ac.jp>	専門は母性・小児・国際看護学。研究テーマは「睡眠」、「乳幼児の予期せぬ突然死予防」、「プレコンセプションケア」、「途上国の周産期」他、疫学研究などの母子研究を研究テーマとしている。
	教授	中島 紀子 <n-nakajima@uhe.ac.jp>	専門は基礎看護学。研究内容は、看護基礎技術に関するエビデンスに関するテーマ、また限界集落地域における健康生活を維持するための社会的取り組みについて等である。
	准教授	羽藤 典子 <n-hato@uhe.ac.jp>	専門は小児看護学。研究内容は、働く母親の病児保育の利用に関する子育て支援、学童期と思春期の女性に焦点をあてた冷え関連症状の緩和を目指した基礎的研究である。
地域包括ケア領域	教授	宮崎 博子 <h-miyazaki@uhe.ac.jp>	専門は公衆衛生看護学。精神障害者への生活支援、精神障害者の家族支援、児童虐待防止のための保護者支援、地域で生活する高齢者の健康づくりを研究テーマとしている。
	教授	赤松 公子 ※	専門は基礎看護学、高齢者看護学。しごれのアセスメントツールの開発、ケア技術の検討、尺度開発、QOL の向上、セルフケア支援に関する内容を研究テーマとしている。
	教授	讚井 真理 ※ <m-sanai@uhe.ac.jp>	専門は高齢者看護学。高齢者と若者の世代継承性に関連する看護論の構築、及び唾液中の神経伝達物質を指標とする高齢者の健康支援システムの開発等を研究テーマとしている。
	教授	別宮 直子 ※ <n-bekku@uhe.ac.jp>	専門は精神看護学。精神疾患をもつ対象者のセルフコントロールに向けた支援、精神疾患をもつ対象者と家族への支援、精神科における倫理的課題解決を研究テーマとしている。
	准教授	田中 正子 <m-tanaka@uhe.ac.jp>	専門は在宅看護学。医療依存状況にある在宅療養者及び家族の生活状況、葛藤、QOL 向上、自己効力感、生活満足度、ストレス等を研究テーマとしている。

※研究指導教員

3. 修業年限

標準修業年限 3年（在学期間は6年を超えることはできません）

※長期履修制度あり、修業年限は5年までとする。（13頁参照）

4. 入試日程

研究科・専攻	課程	方式	入学資格審査 ^{※1}		出願期間 (締切日必着)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
			申請期間 (必着)	結果通知日				
松山 看護学研究科 看護学専攻	博士 後期 課程	I期	令和4年 8月1日(月) ～ 8月17日(水)	令和4年 8月25日(木)	令和4年 9月1日(木) ～ 9月6日(火)	令和4年 9月17日(土)	令和4年 9月22日(木)	令和4年 10月6日(木)
		II期 ^{※2}	令和4年 10月3日(月) ～ 10月7日(金)	令和4年 10月20日(木)	令和4年 10月17日(月) ～ 10月27日(木)	令和4年 11月20日(日)	令和4年 11月24日(木)	令和4年 12月8日(木)
		III期 ^{※2}	令和4年 12月5日(月) ～ 12月14日(水)	令和4年 12月23日(金)	令和5年 1月4日(水) ～ 1月18日(水)	令和5年 2月5日(日)	令和5年 2月10日(金)	令和5年 2月24日(金)

※1 入学資格審査が必要な者が対象です。

※2 定員を満たした場合には、募集を締め切ることがあります。各領域の募集状況については、入試・広報部までお問い合わせください。

5. 出願資格

[博士後期課程]

保健師助産師看護師法に規定する「保健師」、「助産師」、「看護師」のいずれかの資格を取得し、次の条件（1）～（4）のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者及び令和5年3月31日までに取得見込みの者。
- (2) 外国で修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者。
- (3) 平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者。
- (4) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日現在において25歳以上の者。

注1 出願資格(3)(4)により出願しようとする者は、I期では令和4年8月1日（月）～8月17日（水）、II期では令和4年10月3日（月）～10月7日（金）、III期では令和4年12月5日（月）～12月14日（水）の期間に、入学資格審査に必要な書類（8頁を参照）を入試・広報部に提出してください。

注2 出願資格について不明な点がある場合は、出願する前に必ず入試・広報部までお問い合わせください（問い合わせは10頁参照）。

注3 出願資格(3)の「平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等で、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

6. 研究領域についての事前相談

出願を希望する者は、出願（出願手続）に先立ち、必ず志望する専攻領域の研究指導教員と面談し、入学後の研究・教育（履修内容等）について事前に相談してください。研究領域、研究指導教員への連絡、面談は出願までに済ませてください。教員連絡先は、5頁で確認してください。

7. 入学資格審査について

出願資格(3)(4)に該当する者は、出願前に以下の書類を期限までに提出し、入学資格の審査を受けてください。

審査の結果、入学資格を認定された場合に出願が認められます。

なお、入学資格審査に関して、費用はかかりません。

(1) 提出書類

9頁を参照のうえ以下の書類を提出してください。

本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」より封筒貼付用宛名シートをA4サイズでカラー印刷し、市販の角2封筒に貼付してください。必要書類を中心に入れ、出願期間内（締切日必着）に簡易書留速達で郵送してください。

提出書類①、④は本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

提出書類	
①入学資格審査申請書	本研究科所定の用紙(様式4)。研究業績や社会における活動経験を具体的に記入ください。
②成績証明書	大学・短期大学・看護専門学校など該当する教育機関の証明書で、厳封したものを提出してください。
③卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書	出身大学長等が証明したものを提出してください。
④研究業績調書	本研究科所定用紙(様式3)。研究業績がない場合は「研究業績なし」と記入して提出してください。
⑤免許証等の写し	保健師、助産師、看護師免許証の写し。

注1: 必要に応じて、他の書類の提出を求める場合があります。その場合は速やかに指示に従ってください。

注2: 入学資格を証明する書類(修了証明書・成績証明書等)の氏名が、改姓等により現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本(戸籍個人事項証明書)を別途提出してください。

(2) 提出先

〒790-0005

愛媛県松山市花園町3-6

人間環境大学 松山キャンパス 大学院松山看護学研究科 入試係

(3) 申請期間

I期 令和4年8月1日(月)～8月17日(水)必着

II期 令和4年10月3日(月)～10月7日(金)必着

III期 令和4年12月5日(月)～12月14日(水)必着

(4) 入学資格審査結果通知日

I期 令和4年8月25日(木)

II期 令和4年10月20日(木)

III期 令和4年12月23日(金)

本人宛に郵便にて発送します。

8. 出願手続・出願書類等

本学ホームページ「入試情報」より出願サイトにアクセスし、ネット出願登録後、入学検定料を支払い必要書類※をダウンロードし印刷してください。(2)宛名ラベルを貼付した角2封筒に出願書類(1)と(3)～(9)を入れ、出願期間内(締切日必着)に簡易書留速達で郵送してください(別冊のネット出願ガイド参照)。

なお、出願登録時に顔写真(正面・上半身肩口まで・脱帽・背景無地のもので、出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)のアップロードが必要です。「ネット出願ガイド」をよく確認し、あらかじめ写真データを用意しておいてください。

出願書類(3)(4)(8)(9)は本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

(1) ネット出願志願票*	ネット出願登録後、入学検定料を支払い、出願サイトの「マイページ」にアクセスしてダウンロードし、A4サイズでカラー印刷してください。
(2) 宛名ラベル*	ネット出願登録後、入学検定料を支払い、出願サイトの「マイページ」にアクセスしてダウンロードし、A4サイズでカラー印刷してください。 市販の角2封筒に貼付してください。
(3) 自己経歴書 (様式1-2)	①本研究科所定の用紙(様式1-2)を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入して下さい。 ②出願後の記載の変更は認めません。
(4) 志望領域及び研究計画書(様式2-2)	本研究科所定の用紙(様式2-2)を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。
(5) 修了(見込)証明書 (修士課程)	出身大学長などが証明したもの (出願資格(3)(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
(6) 成績証明書 (修士課程)	出身大学長などが出願日よりさかのぼって4ヶ月以内に証明したもの (出願資格(3)(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
(7) 看護師等免許証(写)	保健師、助産師、看護師の免許証の写しを提出してください。
(8) 修士論文等(写し)及び研究業績調書等 (様式3)	・学位を有する者は、学位論文の写し1部及び要旨2,000字程度1部提出。出願時に修士論文等が未完成の者は、A4サイズ用紙を用い、2,000字程度の論文要旨を提出。論文は完成後に提出してください。 ・研究業績調書(本研究科所定の様式)を提出。 出願資格(3)(4)により出願する者は、入学資格審査申請書類として提出した「論文」(筆頭者である)をこれに替えるものとします。
(9) 所属長承諾書(様式5)	在職中に入学を希望する場合は、所定欄を記入し提出してください。

注1: 出願書類(5)(6)(7)(8)のうち入学資格審査申込時に提出した書類は、出願時に再提出する必要はありません。

注2: 出願資格を証明する書類(修了証明書・成績証明書等)の氏名が、改姓等により現在の氏名と異なっている場合は、戸籍抄本(戸籍個人事項証明書)を別途提出してください。

9. 出願に関する注意事項

- (1)出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2)入学試験の結果に関する照会には応じません。
- (3)入学願書に虚偽の記載をした場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (4)7頁「5. 出願資格(1)(2)」による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (5)本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続・選抜方法、本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。
前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

問い合わせ先

人間環境大学 入試・広報部
〒444-3505
愛知県岡崎市本宿町上三本松 6-2
TEL 0564-48-7811
月～金 9:00～17:00 (祝日除く)

10. 入学検定料

(1) 入学検定料 35,000 円 (別途 事務手数料 1,500 円)

(2) 納付方法

ネット出願登録後、支払い方法を選択し納入してください(別紙のネット出願ガイド参照)。

【入学検定料の返還について】

払込後の入学検定料は、次の①、②の場合を除き、いかなる場合も返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合、または出願が受理されなかった場合
- ②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

入学検定料の返還請求をする者は、令和5年3月31日(金)17:00までに下記まで連絡してください。

[人間環境大学 入試・広報部 TEL:0564-48-7811 受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日除く)]

11. 受験票について

受験票は、出願書類を受理した後、出願サイトの「マイページ」に公開します。

受験票を印刷後、出願時に入力した内容であるか、必ず確認してください。

志願票と内容が異なる場合は、下記まで連絡してください。

試験日 2日前までにダウンロードできない場合は下記まで連絡してください。

[人間環境大学 入試・広報部 TEL:0564-48-7811 受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日除く)]

12. 試験日・試験場・選考方法

(1) 試験日

I期 令和4年9月17日(土)

II期 令和4年11月20日(日)

III期 令和5年2月5日(日)

(2) 試験場

人間環境大学 松山キャンパス

愛媛県松山市花園町3-6

TEL 089-909-7001

伊予鉄道「松山市駅」より徒歩3分

(3) 選考方法

入室完了 9:40

科目	英語	専門領域特別小論文	口頭試験
時間	10:00～11:00	11:20～12:20	専門領域特別小論文終了後 1人30分程度
配点	100点	100点	100点
補足	英和辞典、和英辞典各1冊 持ち込み、あるいは医学専門辞書並びに電子辞書機器類の持ち込み可。	保健・医療・福祉分野の知識や論述能力を問う。	これまでの研究などの概要・今後の方向性について、5分～10分で口頭発表。その後、質疑応答を行う。

13. 試験当日の注意

(1) 試験日当日

注：交通事情及び悪天候などの理由で予告なく交通機関が変更・運行中止になる場合があります。

試験当日は、受験票及び筆記用具を持参のうえ 9:40 までに受付を済ませ指定する試験室に入室を完了してください。

試験中に使用できるもの及び机上に置けるものは、受験票・筆記用具(HB または B の黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム)、時計、メガネ、英和辞典・和英辞典各 1 冊持込みあるいは、医学専門辞書並びに電子辞書機器類の持ち込み可です。

(2) 携帯電話、スマートフォンなどを時計代わりに使用することを禁止します。携帯電話、スマートフォンなどは必ず電源を切ってカバンなどの中に入れてください。

(3) 当日の昼食は持参してください。

(4) 遅刻は試験開始後 20 分まで認めますが、中途退出は認めません。

(5) 学内に駐車場はありません。また、送迎などで駐停車する場所もありません。

14. 入試結果通知について

・合格発表日 I 期 令和 4 年 9 月 22 日 (木)

II 期 令和 4 年 11 月 24 日 (木)

III 期 令和 5 年 2 月 10 日 (金)

入試結果は、出願サイトの「マイページ」で合格発表日の 13:00 より翌々日の 17:00 まで照会できます。入試結果を印刷する場合は、**印刷ボタン** を押してください。

・入試結果通知 受験者本人に郵送での入試結果通知は行いません。

入試結果に関する問い合わせには一切応じられません。

15. 入学手続について

合格者は別冊の「ネット出願ガイド」7~8 頁をよく確認し、入学手続をしてください。

(1) 入学手続

下記入学手続期限までに入学手続納入金 525,000 円を納付し、入学手続書類を入試・広報部に提出してください。

・入学手続期限(厳守)

I 期 令和 4 年 10 月 6 日 (木)

II 期 令和 4 年 12 月 8 日 (木)

III 期 令和 5 年 2 月 24 日 (金)

(2) 学生納付金

	入学手續時	1 年次 9 月	2 年次 4 月	2 年次 9 月	3 年次 4 月	3 年次 9 月
入学金 ^{※1}	200,000 円	—	—	—	—	—
授業料等	前期 475,000 円	後期 475,000 円	前期 475,000 円	後期 475,000 円	前期 475,000 円	後期 475,000 円
奨学金 ^{※2}	-150,000 円					
合計	525,000 円	325,000 円				

※1 本学卒業生は入学金全額を免除します。

※2 奨学金として年間30万円を減免します(標準修業年限分のみ)。

その他下記費用が必要になります。(項目、金額等については変更となる場合があります)

- ・学生証作成費 1,650 円
- ・「日本看護学校協議会共済会(Will)保険料」「健康診断費用自己負担分」等の徴収については別途周知します。
- ・上記以外に教科書代及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。

【学生納付金の返還について】

一旦納入された学生納付金は返還しません。大学院入試の合格者で、入学金・前期授業料を納入後、令和5年3月31日(金)17:00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金(もしくは入学金相当額)を除いた学生納付金を返還いたします(振込手数料本人負担)。

16. 個人情報の取り扱いについて

出願に際し提出いただく書類の取り扱いには、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、適正かつ、安全に管理し、以下の1~3の目的以外には使用しません。

1. 出願関係書類などの氏名、住所、その他の個人情報は、本学において、1)出願処理、2)入試の実施、3)入試結果通知、4)合格の入学手続と、これらに付随する事項(願書不備などの連絡など)を行う際に利用します。
2. 願書の不備などがあった場合には、その訂正・補完を迅速に行うため、あなたが本学を受験されること及び、あなたの提出した書類に不備などがあることを、あなたの出身大学などに通知する場合があります。
3. 個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学大学院における入学者選抜のための調査・研究資料、文部科学省などの調査報告、入学後の教育目的などに使用します。

17. 長期履修制度について

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることになります。

(1)申請資格

有職者(正規雇用者に限らず、主としてその収入で生計を立てている者)、出産、育児、介護、その他やむを得ない事情を有する者。

(2)申請期限

入学後のオリエンテーションで説明し、申請を受け付けます。

(3)申請場所

人間環境大学松山キャンパス事務部

(4)長期履修期間及び在学可能期間

	標準修業年限	長期履修期間	在学可能期間
博士前期課程(修士課程)	2年	3年	4年(標準修業年限2年×2)
博士後期課程(博士課程)	3年	5年	6年(標準修業年限3年×2)

* 在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

* 休学の期間は、上記期間に含まれません。

* 長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

(5)申請書類

- ①長期履修申請書(所定様式)
- ②申請資格を証明する文書(職業を有する者については、在職証明書又は、それに代わるものなど。
育児・介護などを行う者については、当該事由を証明する文書「診断書」など)

(6)授業料

長期履修学生の授業料の年額については、標準修業年限に相当する年数を乗じた額を、長期在学期間の年数で除した額となります。

18. 奨学金

名 称	金 額	概 要
人間環境大学 奨学金	年間 30 万円の授業料減免(3 年間分)	入学者全員が対象
日本学生支援機 構奨学金 (返還義務あり)	第一種奨学金(無利子)	人物、学業ともに特に優れ、かつ健康であつて、経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者。
	第二種奨学金(有利子)	人物、学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学に困難があると認められる者。
	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	上記の奨学金の初回振込時に増額して1回だけ振込。単体での申し込みはできません。

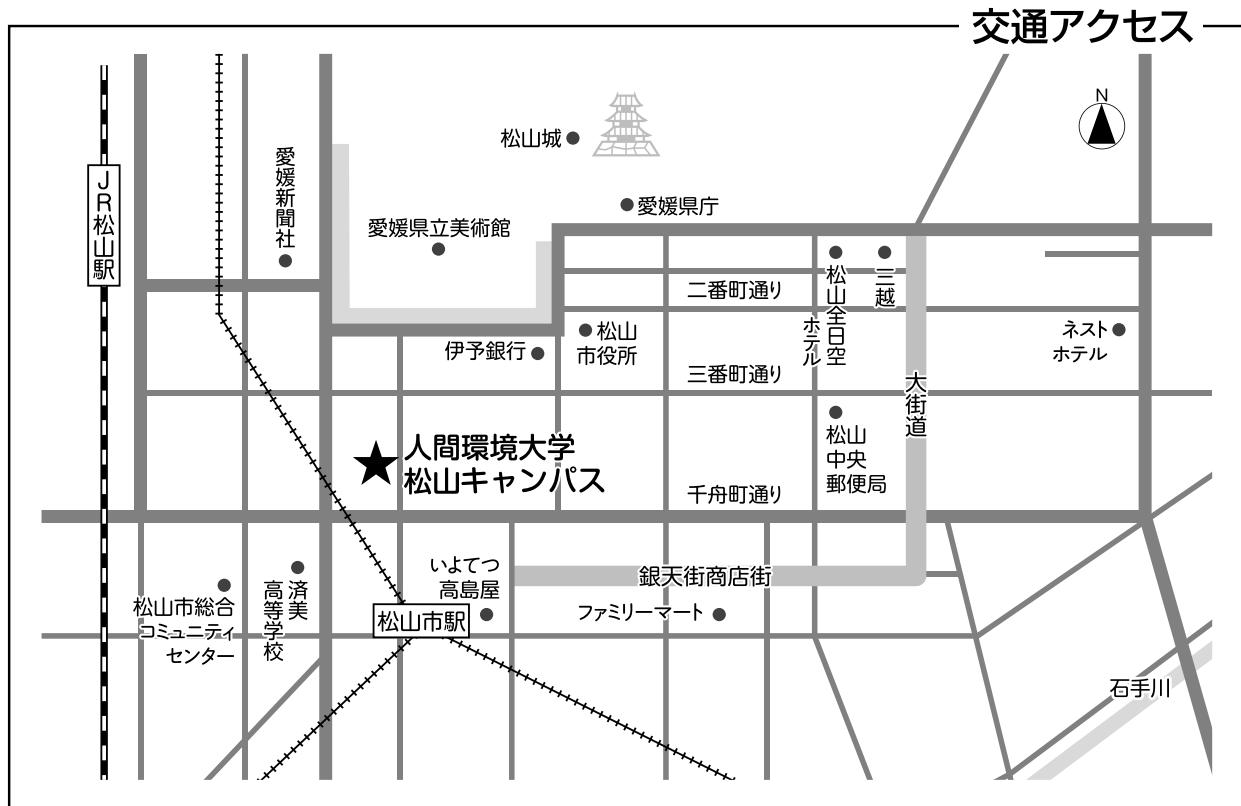
19. 身体障がい者に対する受験上の配慮

身体障がいを有するなどの理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、出願前に入試・広報部に申し出て相談してください。

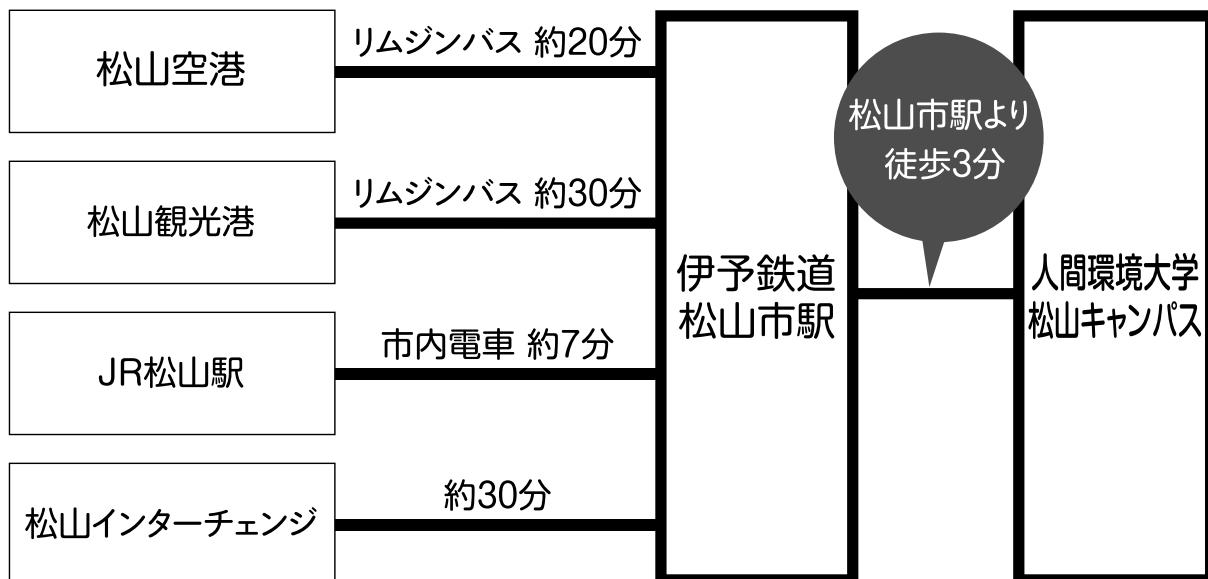
なお、各期日以降も可能な限り対応いたしますが、できる限り早めに申し出てください。

人間環境大学 松山キャンパス

〒790-0005 愛媛県松山市花園町3-6



最寄駅 伊予鉄道松山市駅までのアクセス



※時間は乗車時間の目安です。乗り換え時間は入っていません。

● 入試に関する問い合わせ先 ●

人間環境大学 入試・広報部
〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2

TEL 0564-48-7811

URL <https://www.uhe.ac.jp/> E-mail koho@uhe.ac.jp